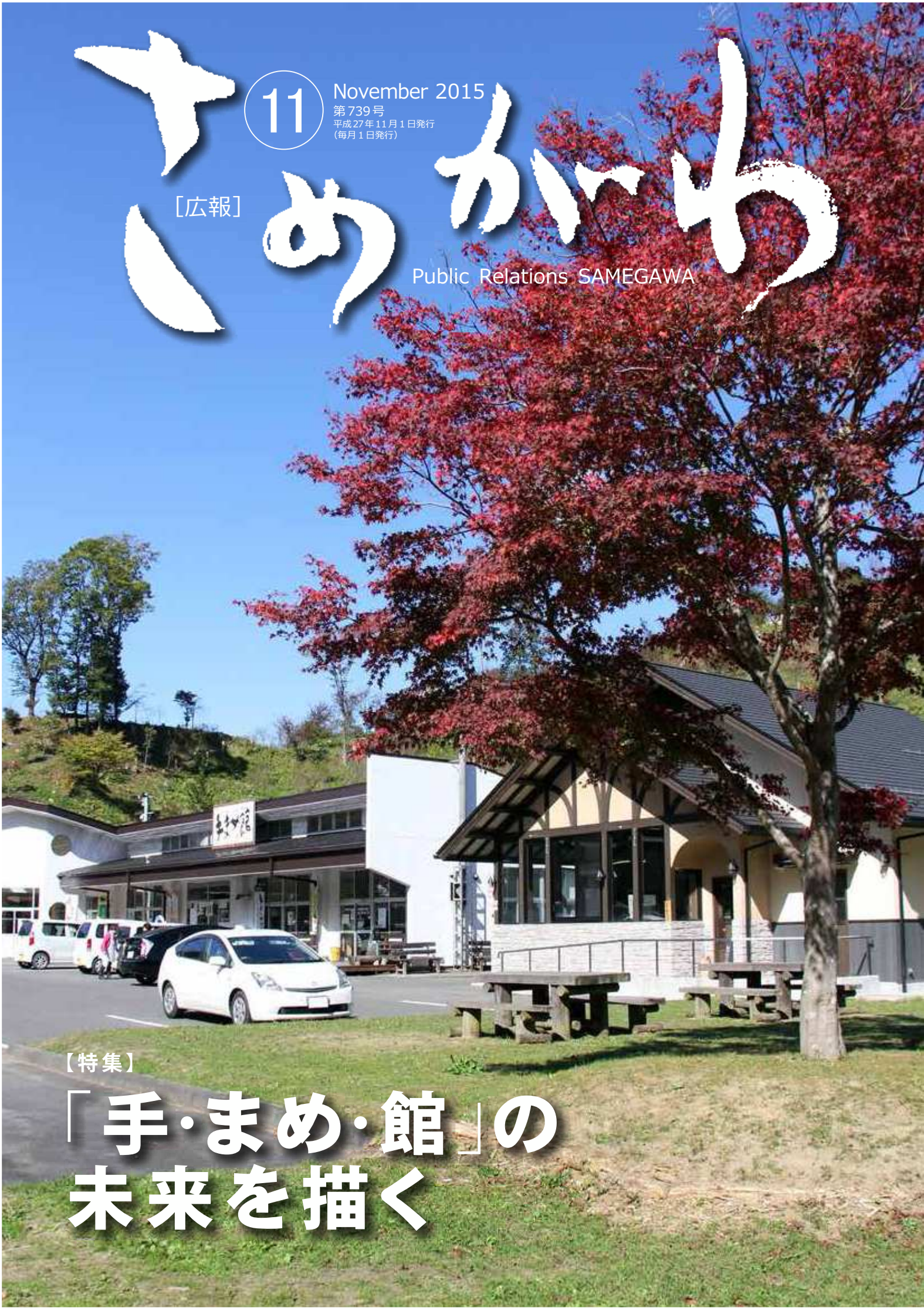
［広報］
さめがわ
11
November 2015
第739号
平成27年11月1日発行
（毎月1日発行）
Public Relations SAMEGAWA



【特集】

「手・まめ・館」の未来を描く

【特集】

「手・まめ・館」の未来を描く





もし、手まめ館がなかったら――
そんなことを考えたことはありますか？
今月で10周年を迎える手まめ館
もはや、私たちの生活や鮫川村にとって、
必要不可欠な存在になっているのではないでしょうか。
今月号では、手まめ館の役割や重要性を再認識し、
新たな10年に向けて手まめ館の未来を
皆さんと考えていきます。

「まめで達者な村づくり」の拠点施設として誕生

10年前、２００５年11月、村農産物加工・直売所「手・まめ・館」（以下、「手まめ館」）は、村の基幹産業である農業の振興と、高齢者の健康づくり・生きがいづくりを図ることで、自立する村づくりを目指す「まめで達者な村づくり」の拠点施設として誕生しました。

当時から、農産物価格の低迷により、農業に取り組む後継者が少なくなっていました。子どもが就農するとなると、家族は「大丈夫なの」と心配するほど、農村の経済環境が悪くなっていました。そのような状況で、どうすれば農業を後継者に引き継げるのか、そして再び農業に誇りをもってもらえるのかと考えました。そして、１９４０年代、50年代の農業が豊かな産業だった時代を経験している高齢者の力を借り、明るい農村に戻そうと大豆とじゅうねんを軸にした村づくりが始まりました。

また、高齢者に健康で、意欲をもって暮らしてもらう目的もありました。畑に出て仕事をしてもらい、収穫の喜びを味わってもらう。さらに、自分たちが作った大豆が加工、販売され、収入を得る

ことで生きがいを見い出してもらいたいと考えました。

大豆やじゅうねんの栽培には、特に「手まめ」な仕事が求められます。意欲的に生産活動に取り組んでもらうため、村は価格保証を決めました。市場価格が1キロ150円程度のところを、村は1キロ500円で買い入れます。この価格保証した分を補うため、生産、加工、販売を行う農業の6次産業化に着目しました。具体的には、買い入れた大豆に付加価値を付けるため、豆腐やみそに加工し、地域内でお金を循環させる仕組みをつくりました。

その機能を果たすのが「手まめ館」です。村づくりの中核を担っていると言っても過言ではありません。



1



4



3

1_生産者が手まめに育てた農産物や大豆・じゅうねんの加工品が並ぶ直売所。壁には生産者の顔写真が貼られている／2_「手まめ館」内にある豆腐の加工室。手作り豆腐は人気商品の一つ／3_おふくろの味を堪能できる食堂。村内外から多くの人でにぎわう／4_手まめカフェで作られている天然酵母パン。コーヒーやケーキなどもあり、老若男女を問わず人気

手まめ館10周年大感謝祭

日時 11月8日㊐9時～17時

10周年記念品プレゼント
直売所またはカフェでお買い上げの先着500名様に、粗品をプレゼントします。

新商品キャラクターグッズ発売
「特製ゆうきくんTシャツ」

直売所

感謝セール9時～17時
新鮮野菜、肉、みそ、惣菜などが通常価格の10～50％OFF

お楽しみ抽選会9時～15時
直売所で1000円以上のお買い物毎に、抽選券1枚を差し上げます。空くじなし先着1000本。

食　堂 11時～13時30分
バイキング付け合わせ付きワンコイン（500円）ランチ　※数に限りがありますので、なくなり次第終了。

カフェ 10時～17時
天然酵母パン全品10％OFF
コーヒーケーキセット大感謝祭特別価格500円（通常価格680円）

イベント
- 和太鼓ソロアーティストＭＡＢＯ（大河内正紀氏）による和太鼓演奏　11時～／14時～
- 「ゆうきくん」記念写真撮影会
- お楽しみ景品付き投げ餅　14時30分～

出　店
焼き鳥、焼きそば、ソフトクリーム、クレープなどの出店が並びます。

㊐村農産物加工・直売所「手・まめ・館」☎㊾２５５６

「また来たい」と思う接客を売る人も魅力の一つに

●インタビュー

藤田敏江さん

オープン当初は、私を含めてほとんどのスタッフが未経験者でした。私自身、食堂やレジの経験がないのにできるのか不安でした。接客をしながら覚えるような状況だったので、お客さんから苦情や批判はありました。それでも、「頑張ってね」と声をかけてもらうこともあり、お客さんが面倒をみてくれたので、運営ができたと思っています。お客さんが私たちスタッフや手まめ館を育ててくれたと言ってもいいでしょう。

まだ仕事に慣れていないときでも、そこを愛嬌（あいきょう）で補いました。お客さんが「また来たい」と思うような接客について考え、話しかけたり、野菜の食べ方を教えたりしました。売る人が元気ならば、野菜はさらに元気になるんです。「体は小さいのに声は大きいね」と、よく言われました。

村内のお客さんだけではなく、村外のお客さんも大切です。村外、県外から来るお客さんは多く、東京都から日帰りで来た人もいました。スーパーなどで買えるにもかかわらず、わざわざ手まめ館に買いに来てくれる人がいます。今では、村外の人にとって手まめ館は鮫川村の顔と言ってもいいのではないでしょうか。

村外のお客さんを引きつける魅力を考えたとき、商品だけではなく、売る人も魅力の一つだと思います。たまに来るお客さんに「また来てくれてありがとうございます」と一声かけると、「覚えていてくれてありがとう」と喜ばれました。地元の人との交流を求めているお客さんもいるのです。一言声をかけたり、ちょっとした気配りをしたりすることで、お客さんは感動し、それがリピーターにつながると思います。そのようにして10年間働いてきて、たくさんの友だちができました。遠くから来てくれる人、お土産を持ってきてくれる人、年賀状を交換する人。「敏江さんがいるとホッとする」など、お客さんから言ってもらえるとうれしいです。

私たちは、生産者とお客さんをつなぐパイプ役でもあります。お客さんと同じくらい生産者も大切です。お客さんの要望に応えるために、生産者が大変なことを承知の上でお願いすることも多いからです。手まめ館に関わる人は誰であれ大切。小さな村だからこそ、運営していく上でつながりが重要だと思います。



ふじたとしえ●開設当初から2015年3月まで村農産物加工・直売所「手・まめ・館」に勤務。2年間、食堂部門で調理を担当。その後、直売所部門でレジなどを担当。今年9月からは週2・3日、手まめ館を手伝っている。気さくな性格と豊富な知識で敏江さんファンのお客さんも多い。64歳、渡瀬字関口在住

10年間のキセキ

手まめ館ができたことによって、生産者、消費者、手まめ館で働く人、私たちの生活はどのような影響を受け、変わってきたのでしょうか。10年間の軌跡によって、生まれた奇跡、効果とは――



右_学校給食用食材の生産者と子どもたちが会食する「食と農の交流会」。学校給食によって、生産者と子どもたちの距離が近くなった／**下**_なるべく農薬や化学肥料に頼らず、手間暇をかけて栽培している農家が多い。高齢者とは思えない働きぶり



生産者の所得・意欲向上

大豆を始め、手まめ館に並ぶ農産物は、大切な子どもや孫のために作ったものの延長線上。全てに生産者の名前が書かれ、一人一人が責任を持って出荷しています。また、直売所の壁には生産者の顔写真が張られており、顔が見える販売を行っています。それが次第に消費者に理解され、手まめ館の利用者や売り上げは伸びています。これが生産者の意欲や誇りにつながっています。そして、「消費者に喜んでもらいたい」「手まめ館に、村にもっと人を呼びたい」という思いから、品質はさらに磨かれています。

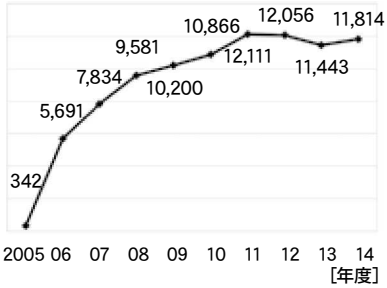
地産地消・食育の推進

手まめ館ができたことによって、地産地消が進みました。それは学校給食においても同様で、現在、地場産物の活用率は県内トップクラス。開設当初、生産者を含めた「学校給食部会」を立ち上げ、学校給食に使う農産物の必要量を説明し、作付面積の拡大をお願いしました。実際、学校給食のために多く作付けする生産者が増えました。また、07年からは学校給食の炊飯を請け負っています。クラスごとに炊飯器で村内産の米を炊き、炊きたてに近い状態のご飯を提供しています。これは県内でも珍しい取り組みです。そのほかにも、カット野菜などの一次加工も行っており、地場産物を活用した献立の充実につながっています。

雇用の場を提供

開設当初は役場職員3人を含めた8人が働いていました。当時は、豆腐とみその製造、直売所、軽食がメインの食堂、惣菜の製造が主な業務内容でした。その後、加工品アイテムの拡大、食堂の充実、喫茶店と豊かな土づくりセンターのオープンにより、現在は19人が働いており、雇用創出につながっています。

手まめ館の年間売り上げ（万円）



09年度以降、年間1億円以上を売り上げている。また、東日本大震災の影響で売り上げが落ち込むことはなかった。※05年度は同年10月から06年3月までの6ヵ月間の売り上げ。

あなたにとっての手まめ館

10年の歩みの中で、多くの人の思いによって今の手まめ館が成り立っています。それぞれの立場から、手まめ館をどのように見ているのでしょうか。手まめ館に関わる人たちに聞きました。



WADA HARUMI
消費者・田んぼのオーナー

日常的に使うみそや新鮮な野菜を安心して買える

和田晴美さん ＝神奈川県＝

渡瀬在住の栗原幸子さんの友人で、5年前から鮫川村に来ています。2年前に田んぼのオーナーになり、田植えや稲刈りなどを体験しています。鮫川村に来たときは、必ず手まめ館で「達者の味噌（みそ）」と「じゅうねんドレッシング」を購入します。我が家では、毎日食べるみそ汁に「達者の味噌」は欠かせません。スーパーなどで売られているみそと比べて、少量でしっかり味が出ます。息子たちにも好評です。

もし、手まめ館がなかったら、鮫川村に来たにもかかわらず地場産物を手に入れられなかったと思います。日常的に使うみそや新鮮な野菜を安心して買えることが魅力です。

都市部の福島県物産館などでも買えるといいですね。



SUZUKI NORIO
手まめ館生産者

作った野菜をたくさんの人に消費してもらえることは最高

鈴木則男さん ＝西山字鐘撞堂＝

私は定年退職後に農業を始めました。それ以前は農業をやるつもりは全くありませんでしたが、健康維持のためと、ウルイの株をもらったことがきっかけで、2012年から手まめ館に出荷しています。現在は、約5反歩で年間約30種類を作っています。みんなに珍しい野菜を食べてもらいたいと思い、他の生産者が作らないような品種を多く作っています。↖



TUMURAYA YAEKO
消費者・手まめ館生産者

手まめ館に行けば誰かと会えるそこで話しをすることが楽しみ

円谷八重子さん ＝富田字中沢＝

2日に1回、早川新聞店に新聞紙を取りに行くついでに手まめ館に寄っています。用事がなくても行くので、スタッフの人には「また来たの」と冗談を言われるくらいです。手まめ館に行けば誰かと会えるので、そこで話しをすることが一つの楽しみです。

都会に住んでいる子どもや友だちのために、手まめ館で野菜を買って送っています。手まめ館で売られている野菜は、その作る手間暇を考えると、安いと思います。値段だけでなく品質もいいと、子どもたちにも好評です。直売所だけではなく、食堂と喫茶店もよく利用します。お客さんが来たときは必ずと言っていいほど案内します。

手まめ館で肉や惣菜も買えるので、村外のスーパーを利用することが少なくなりました。村外に行くと片道30分かかってしまうので、とても助かっています。

VOICE

出荷量が増えて収入も増えた それが生産意欲につながる

舟木ミツヨさん　＝赤坂西野字寅卯平＝



FUNAKI MITSUYO
手まめ館生産者

09年の秋、手まめ館の生産者に登録しました。最初は無我夢中でした。何を作ったらいいのか分からず、なかなか品質のいい物を出荷できませんでした。そのため、1、2年目は月数千円の収入でしたが、講習会に参加したり、他の生産者に教えてもらったりすることで、出荷量が増えて収入も増えました。それが生産意欲につながっています。また、他の生産者の野菜を見て勉強したり、売れた野菜を確認したりと、関心をもつことで生活に張り合いが生まれています。

出荷する上では、品質に気を付けています。虫がついたものは出荷しません。「手まめ館には品質のいい野菜がある」と評判になれば、お客さんも増えていくはずです。

もし、手まめ館がなければ、村外から来る人は少なかったでしょう。また、村内の商店が少しずつ減っている状況なので、手まめ館で食事ができたり、喫茶店があったり、催しをやったりすることで、村に活気が生まれていると思います。手まめ館は人が集まる場所になっています。

野菜作りは難しい。思うようにはなかなか育ちません。納得できない物は全て捨ててしまいます。その分、理想の形に作れたときはうれしいです。何も作業がなくても畑に行きます。我が子のようにかわいいです。

手まめ館は少量でも出荷できるので、いろいろな品種を作ることができます。もし、手まめ館がなければ、ここまで農業にのめり込んでいなかったでしょう。作った野菜をたくさんの人に消費してもらえることは最高です。まして、村外、県外でも消費してもらえることは素晴らしいです。手まめ館があることで、生産意欲が増した人は多いでしょう。みんな、いい物を作ろうと本気です。私も先輩たちに負けないように、珍しい野菜に挑戦してきたいです。いい物を作り続けて、村に人を呼び込みたいです。

子どもたちと生産者の距離が近づき「食育」につながる

舟木正博所長心得



FUNAKI MASAHIRO
村学校給食センター

手まめ館ができたことで、野菜だけではなく、加工品も使えるようになり、加速度的に地場産物の活用率が上がりました。現在、加工品を含め年間で50品目を超える地場産物を使用しており、活用率は県内トップクラスです。生産者の顔が見える安心安全な地元食材を、旬の季節に子どもたちに提供できています。

「食育」の取り組みとして、毎年、生産者と子どもたちが会食する「食と農の交流会」を行っています。生産者は給食が身近に感じられるとともに、生産意欲向上につながっています。また、子どもたちは生産者に対する感謝の気持ちを学んだり、給食と農業の関わりを実感したりする機会になっています。このように、子どもたちと生産者の距離が近くなり、食育につながっています。学校給食において、手まめ館の担っている役割は大きいと思います。

今後、給食センターと手まめ館が連携し、給食用商品の開発に取り組んでいきたいと考えています。それによって、さらに地産地消の幅が広がります。

未来へ

現在の課題を踏まえた上で、10年後、20年後、手まめ館があり続けるため、そして、生産者、消費者、働く人がさらに笑顔になるために新たな可能性を考えます。

待っているだけではなく発信することで販売力強化に



岡部良典さん

手まめ館の主な収入は、農家が出荷した野菜などの販売手数料（売り上げの15％）と大豆加工品などの販売収入です。２０１４年度の売り上げを見ると、販売手数料は全体売り上げの約５％、加工品販売は約65％。今後、手まめ館が健全な経営を行うためには、販売力強化、売れる加工品づくり、安定的な品ぞろえが最重要課題です。

村は地域おこし協力隊に、13年12月に岡部良典さん、14年４月に髙野大助さん、の２人を委嘱しました。それぞれの経験を生かし、課題解決に取り組んでいる段階です。

現在、最盛期に同じ農産物が大量に出荷され、売れ残ってしまう状況です。それを心配し、作付けを減らしたり、出荷をためらったりする生産者は少なくありません。販売力を強化することで、生産者は安心して農産物を作ることができます。それが作付面積の拡大につながり、生産者の所得や生産意欲の向上に結び付きます。

岡部隊員は、長年、百貨店に勤務していた経験を生かし、直売所を中心に売り場改善に力を入れています。「お客さんに快適に買い物をしてもらうことが、売り上げを伸ばすことにつながります。手まめ館は食品を扱っているので、特に清潔感が重要です」と話します。清掃の徹底や値札の統一のほか、売り込むためのツールとしてパンフレットや「ゆうきくん」関連商品の作成などを行っています。

大豆やじゅうねんを中心にここでしか買えない独自商品を



髙野大助さん

「手まめ館の客単価は約１５００円。これは周辺の直売所より高いと思います。その理由の一つは、豆腐やみそなど、手まめ館でしか買えない独自商品があるからではないでしょうか」と、商品開発の重要性を訴える岡部隊員。

髙野隊員は、食品加工に携わってきた経験を生かし、商品開発に取り組んでいます。今年２月には、農閑期に貢献する商品として「抹茶くず湯」、「しょうが湯」を商品化。現在は、「鮫川村らしさ」にこだわった新たな商品開発に取り組んでいます。例えば、粉末にした大豆を使った麺やお土産用のお菓子などを試作しています。まもなく、豆腐プリンが商品化される予定です。

今後、大豆やじゅうねんに限らず、農産物の加工にも取り組む予定です。生産者が出荷した農産物を無駄にせず、大量に出荷された農産物を乾燥などの方法で保存することで、年間を通して学校給食に使用することができます。また、専門家のアドバイスを受けながら、加工した農産物を使ったメニューの開発にも取り組む予定です。

TOP INTERVIEW

都市交流の窓口や村の農業を方向付けるなど期待する役割は大きい



鮫川村長　**大楽勝弘**

手まめ館に並ぶ農産物や加工品を村内だけで消費することはできません。多くの人に村に足を運んでもらい、村や村の農業を体験、理解して商品を購入してもらわなければいけません。そのためには、販売だけではなく宣伝も手まめ館の重要な役割です。

また、都市交流の窓口としての機能もあります。現在、都市交流による消費拡大を目指して積極的に交流しています。農業の素晴らしさを理解してもらい、農業の手助けをしてもらいたいと考えています。その取り組みの一つとして、滞在型農業・クラインガルテンを検討しています。都市住民は村に滞在し、農業を体験することで、安心安全な農産物を作るためには手間暇がかかるということを実感することができます。それによって、商品価値が上がるはずです。また、村には3つの川の源流があり、自分たちが汚さなければ汚れない水をもつ恵まれた自然環境です。「この環境で育てられた農産物は悪いはずがない」と確認してもらうねらいもあります。クラインガルテンがうまく機能すれば、差別化した農業が展開できるのではないでしょうか。そのために、手まめ館が担う役割は大きいでしょう。

手まめ館は生産者と消費者のかけ橋です。消費者の動向を踏まえた上で、手まめ館が積極的に生産者を誘導してほしいと思います。手まめ館が村の農業を方向付ける役割も担っているのです。

現在、旬の時期に同じ農産物が多く出荷され、売れ残ってしまう状況です。一方、農閑期には出荷量が極端に減ってしまいます。それを少しでも緩和するためには、消費者のニーズを的確にとらえながら、品種や作付け時期の助言、ハウス栽培など、生産者を誘導する必要があります。また、それと同時に、大量に出荷された農産物を加工、保存する取り組みも重要です。出荷された農産物を活用できます。そうすることで、手まめ館も村も自立することができるでしょう。

あるものを生かして手まめ館の付加価値を高める

岡部隊員は「村外から来る人の多くは手まめ館に立ち寄ります。そこで、村の観光情報を集約して発信する場、つまり観光案内所のような役割を担うこともできます。また、舘山公園をさらに楽しめる場所にし、手まめ館とその周辺の景観を生かした空間づくりをすることで手まめ館の魅力度が上がると思います」と、新たな可能性を提案します。

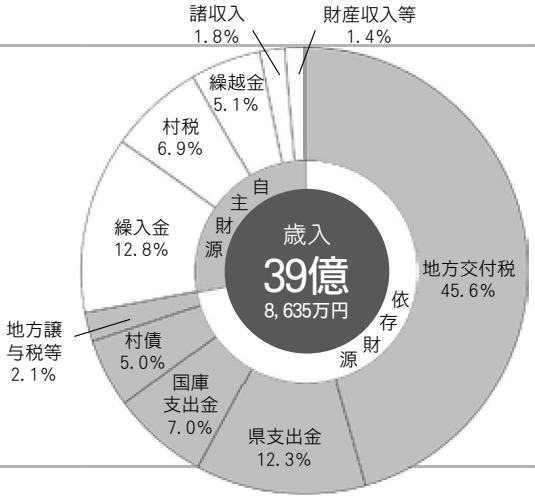
これまで進めてきた「生産」「加工」「販売」の6次産業化を継続しながら、違う視点から手まめ館の魅力度を向上させることができます。例えば、▼村の観光情報を知ることができる▼農業や豆腐・みそ作りを体験できる▼じゅうねんの効能を学べる―など、発見や学びを通して感動を共有できる空間にすることで、さらなるリピーター確保につながるのではないでしょうか。このように、今、鮫川村にあるものを生かし、手まめ館に「体験」や「学び」のような新たな機能を組み合わせることで付加価値を高めることができます。

手まめ館は多くの可能性を秘めています。生産者、消費者、働く人、たくさんの笑顔が集まる場所に、これからの10年で育てていきましょう。

平成26年度決算報告

むらの家計簿

村の平成26年度の決算がまとまり、９月中旬に行われた第６回村議会定例会で認定されました。一般会計は、歳入が39億8,635万円、歳出が38億5,452万円で1億3,183万円の黒字となりました。今月は、平成26年度決算のあらましをお知らせします。



一般会計 歳入

依存財源が増加し、全体の72％に

一般会計の歳入総額は、前年度と同程度で１９２万円の増となりました。これは、繰越金や国・県支出金および地方消費税交付金などの増加によるものです。

自主財源の中で最も多いのは繰入金ですが、公共施設整備基金など各種基金から所要額を繰り入れたものの、財政調整基金からの繰入が少なかったため、前年度より８４３９万円（14・2％）減少し、全体の12・8％となりました。次いで、村税が村民税の減などにより前年度より２７９万円（１・０％）減少し、全体のうち６・９％を占めました。

次に、歳入全体の７割超を占める依存財源では、そのおよそ半数が地方交付税です。普通交付税は前年度と同程度となりましたが、特別交付税と震災復興特別交付税が増となったため、前年度より１億２３４万円（６・０％）の増となりました。また、国庫支出金は公共施設災害復旧事業補助金、社会資本整備総合交付金や臨時福祉給付金などが増え、前年度より２９８８万円（12・１％）の増となりました。県支出金は、被災農業者向け経営体育成支援事業費補助金や公立学校等校舎内緊急環境改善事業補助金などが増え、前年度より６９５９万円（16・５％）の増となりました。

■会計別決算の状況

会計別		歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計		39億8,635万円	38億5,452万円	1億3,183万円
特別会計		14億1,371万円	13億5,559万円	5,812万円
国民健康保険	事業勘定	5億1,059万円	4億8,478万円	2,581万円
	直診勘定	7,689万円	6,748万円	941万円
簡易水道事業		1億5,545万円	1億5,452万円	93万円
村営バス事業		3,341万円	3,044万円	297万円
集落排水事業		3,148万円	3,106万円	42万円
介護保険		4億5,506万円	4億3,682万円	1,824万円
交流施設		1,226万円	1,225万円	1万円
学校給食センター		1億 335万円	1億 304万円	31万円
後期高齢者医療		3,522万円	3,520万円	2万円
決算総額		54億 6万円	52億1,011万円	1億8,995万円

一般会計 歳出

農林水産業費が約65％増の大幅な伸び

歳出総額は前年度に比べて７１５３万円（１・９％）の減少となりました。

最も多くの割合を占めたのが総務費ですが、前年度より３億７５０３万円（30・５％）減となりました。これは、辺地共聴施設整備事業など

お金の使いみち

村は、復興計画に定める諸政策により村民の健康を見守り、風評被害の克服や産業の復興を後押しするさまざまな事業を展開するとともに、第３次振興計画に定める事業の実現のため、財源確保に工夫を凝らし、費用対効果を見極めて各種施策を進めてきました。

平成26年度に実施した主な事業を紹介します。



小・中学校、こどもセンター空調設備設置事業　8,122万円

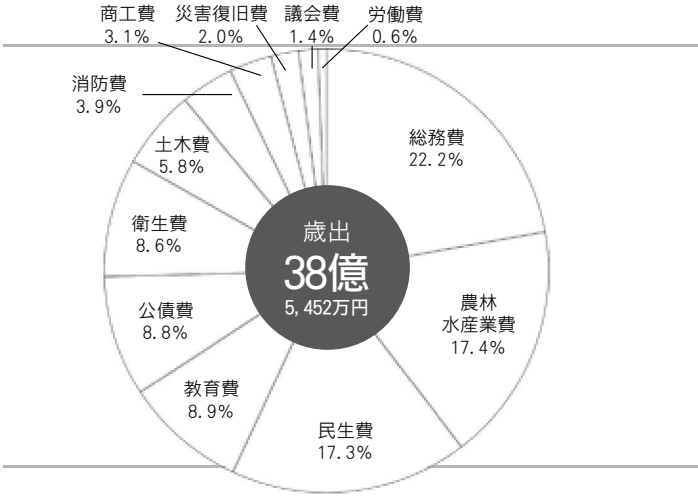
青生野小学校、鮫川小学校、鮫川中学校、こどもセンターにエアコンを整備し、子どもたちが受ける放射線量の低減化を図りました。



クロスカントリーコース増設事業　3,117万円

鹿角平観光牧場内に設置しているクロカンコースに木陰の多い林間コースを増設。夏場の練習に対応する環境が整いました。

が前年度完了したためです。次いで、農林水産業費が前年度に比べて2億6459万円（64・8％）増え、全体の17・4％を占めました。これは、農産物備蓄倉庫改修工事や経営体育成支援事業費補助金、東日本大震災農業生産対策交付金などの増によるものです。次に多いのが民生費で、前年度に比べ7880万円増となり、全体のうち17・3％を占めました。これは、こどもセンターの浄化槽入替工事や空調設備設置工事、子育て世帯臨時特例給付金などの増によります。



特別会計

9つすべての会計が黒字で決算

特定の事業を行うために一般会計と分けて経理する特別会計は、国民健康保険（事業勘定、直診勘定）、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の9つがあり、26年度は、全体で歳入が14億1371万円（5・6％増）、歳出が13億5559万円（7・4％増）となり、5812万円の黒字となりました。

平成26年度財政状況

健全財政を維持

財政健全化判断比率・資金不足比率を公表

地方公共団体の財政健全化に役立てることを目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、新しい財政指標の公表が平成19年度決算から義務付けられています。

この法律に基づき、毎年度4つの健全化判断比率（①実質赤字比率／②連結実質赤字比率／③実質公債費比率／④将来負担比率）および公営企業会計ごと（簡易水道事業・集落排水事業）の資金不足比率について、村監査委員の審査を受け、議会に報告し公表しなければならないこととされています。

本村は全ての値が基準値を下回り、実質公債費比率および将来負担比率においては前年度より値が改善されていることから、健全財政を維持していると言えます。

■財政健全化判断比率

指　標	鮫川村の指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	5.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	—

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため「－」で表示
※将来負担比率は算定されないため「－」で表示

【用語解説】

■**実質赤字比率**…普通会計（本村の場合は、一般会計および特別会計の村営バス事業、交流施設、学校給食センターが該当）の赤字額の収入（標準財政規模）に対する割合■**連結実質赤字比率**…全ての会計の赤字額の収入に対する割合■**実質公債費比率**…収入に対する公債費の割合。過去3年間の平均値を使用■**将来負担比率**…将来見込まれる負債（地方債の償還金や退職手当支給予定額など）の収入に対する割合

■資金不足比率

会　計　名	鮫川村の指標	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0%
集落排水事業特別会計	—	20.0%

※2つの会計ともに収支が黒字のため、資金不足率は生じませんでした。



鹿角平観光牧場コテージ新築事業　4,718万円

クロカンコース利用者などに長期滞在してもらうため、鹿角平観光牧場内にコテージを2棟整備し、観光牧場の魅力向上を図りました。



消防体制整備事業（防火衣更新）　1,566万円

消防団員が火災出動時に着用する防火衣が古くなっていたため、上着や防火ヘルメット、長靴、手袋などを新調しました。



太陽光発電設備設置事業　3,011万円

災害発生時に避難所に指定されている青生野小において、停電時に電気が使用できるように太陽光発電設備と蓄電池を導入しました。

鮫川村文化祭

A Cultural Festival

■期間中の催し

行事名	日　時	会　場	内　容	実施団体など
第20回 村少年主張大会	11月3日（火・祝） 9時～	村公民館 （大集会室）	小・中学生や高校生が日ごろ考えていること、訴えたいことを発表	村青少年健全育成推進協議会
第14回 音楽発表会	11月3日（火・祝） 11時30分ごろ		村内の小・中学生による合唱など	村教育委員会
鮫川の郷土料理を楽しむ会	11月21日（土） 表彰式：10時30分～ 郷土料理を楽しむ会：正午～	村公民館 （大集会室）	各種コンテストの表彰式後、郷土料理を楽しむ会を開催	村里山大豆特産品開発プロジェクトチーム
ふる里文化芸能 クラブ芸能発表会	11月23日（月・祝） 9時～13時	村公民館 （大集会室）	加盟団体による、歌や踊りなどの発表会	ふる里文化芸能クラブ
第68回 鮫川村文化祭	11月25日（水）～ 12月1日（火） 9時～17時 ※1日は正午まで	村公民館	一般作品展 公民館事業作品展 高齢者作品展 小中学校児童生徒作品展 こどもセンター作品展 修明高校鮫川校作品展 やまぶきの会作品展 文化団体作品展示（アクリル画愛好会、奥の鮫川文芸クラブ、パッチワーク愛好会） 防火ポスター作品展 みやぎ会作品展 フォトコンテスト作品展	村教育委員会

一般作品を募集します

第68回鮫川村文化祭行事において、文化団体に属さない人の一般作品を募集します。

対象　村内居住者

募集作品　絵画、手芸、写真、陶芸、生け花、木工、竹・わら細工など

募集期間　11月16日㊊まで（土日、祝日除く）

応募方法　目録を作成しますので、応募用紙に必要事項を記入し、11月16日㊊までに、村公民館に申し込んでください。

作品搬入　11月24日㊋13時から16時までの間に会場に直接搬入し、飾りつけをお願いします。

作品搬出　12月1日㊋13時30分から搬出してください。

問村教育委員会教育課
☎㊾3151／FAX㊾3152



舘山周回駅伝競走大会

村体育協会主催の「第1回村舘山周回駅伝競走大会」は11月29日㊐に行われます。

大会は7地区体育協会対抗だけでなく、友人や職場仲間などでチームを編成して出場できます。多くの参加をお待ちしています。また、村民皆さんの応援をお願いします。

日時　11月29日㊐10時スタート

場所　▼開・閉会式…村農業者トレーニングセンター▼コース…宿ノ入、広畑、新宿、道少田地内を走る周回コース1周約3キロを4周計12キロ（スタート・ゴールはトレセン）

参加資格　次のいずれかに該当する人▼①村内居住者②村出身者③村内事業所従事者

部門　▼レース部門…地区体協対抗で、走者限定のとおり走る▼体協チャレンジ部門…走者限定のとおりでは出場できない地区体協において、走者限定にこだわらず、誰でも走れる▼一般チャレンジ部門…地区体協にこだわらず、チームを編成して出場する

表彰　部門ごとに上位チームを表彰する　※区間賞なし

参加費　1チーム1000円

申し込み　申込書に必要事項を記入し、11月6日㊎までに参加費を添えて村教育委員会に申し込んでください。

■交通規制に協力してください

舘山周回駅伝競走大会開催に伴い、交通規制が行われます。11月29日㊐10時から11時30分まで、コースとなる国道349号および村道は通行止めです。皆さんの協力をお願いします。

問村体育協会事務局（村教育委員会教育課）☎㊾3151

■区間

区間	走者限定	距離（キロ）
1	小学生	1.0
2	小学生	1.0
3	中学生	1.0
4	中学生	3.0
5	30歳以上	1.0
6	一般（高校生以上）	2.0
7	一般（高校生以上）	3.0

農産物などの放射性物質測定結果

村内で栽培・採取された農産物などの放射性セシウム測定結果を公表します。結果は参考値で目安です。

村は引き続き放射性物質の検査を受け付けています。ぜひ、利用してください。

【注釈】
①放射性セシウムは134と137の合算値です。
②検出限界値未満を「不検出」と表示しています。
③空欄は測定実績がありませんでした。
④同じ地区で複数ある場合は、最小値と最大値を表示しています。

問村農林課☎㊾3114

9月16日～10月15日検査　［ベクレル/kg］

検査試料	赤坂西野	西　山	赤坂中野	東　石	富　田	渡　瀬	青生野
里芋	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
チンゲン菜	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出		
小松菜	不検出	不検出		不検出	不検出		
サツマイモ	不検出	不検出		不検出	不検出		
春菊	不検出	不検出	不検出	不検出			
大根	不検出	不検出		不検出	不検出		
イノシシ肉				26～206	144	87	
イチジク		不検出	不検出				
シメジ				29～136		284	
ジャガイモ		不検出	不検出				
ニンジン	不検出				不検出		
白菜		不検出		不検出			
クリ						不検出	
ブルーベリー							不検出

ふくしま駅伝 11月15日㊐7時40分スタート

若い力を機動力に上位を目指す

第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月15日㊐、しらかわカタールスポーツパークをスタート、県庁前をゴールとする16区間、95・1キロのコースで開催されます。

今年で26回目の出場となる鮫川村は、若い力を機動力とするチームで挑みます。中学生・高校生を中心に編成し、それをベテランがまとめています。

9月2日に行われた「ふくしま駅伝鮫川村チーム結団式」では、主将の前田大樹さんが「昨年以上のチームにして、鮫川村民としての誇りをもって最後まで走りぬく。希望と勇気を村民に与えたい」と決意表明を行いました。

選手たちは大会に向けて練習を重ね、上位入賞を目指します。村民の皆さんの応援をお願いします。

団長

大橋邦次
村体育協会長

監督

阿久津光市
村スポーツ推進委員会長

コーチ

舟木敏勝
ふくしま駅伝経験者

コーチ

目黒信一
村スポーツ推進委員

選手

鈴木　悟
鮫川たんぽぽの家

選手

前田大樹
棚倉消防署

選手

圓井敏彦
ALSOK福島㈱

選手

岡部望弥
郡山女子大付属高３年

選手

芳賀弘康
白河旭高２年

選手

緑川春香
学法石川高２年

選手

目黒　司
学法石川高２年

選手

三瓶浩斗
学法石川高２年

選手

鈴木　蓮
学法石川高２年

選手

須藤康太
日大東北高２年

選手

生田目大輔
学法石川高１年

選手

関根美可
鮫川中３年

選手

湯座真代
鮫川中３年

選手

鈴木龍聖
鮫川中３年

選手

鈴木和之
鮫川中３年

選手

鷺野谷海翔
鮫川中３年

選手

笹島匠悟
鮫川中３年

選手

舟木悠悟
鮫川中２年

選手

円井純一
鮫川中１年

選手

舟木　陽
鮫川中１年

選手

北條佑奈
鮫川中１年

選手

坂本花梨
鮫川中１年





少林寺拳法福島鮫川道院拳友会
小松照義代表。部員は小学２年生からの19人。毎週火・金曜日に村農業者トレーニングセンターで練習を行っている。少林寺拳法は、自分の身を守るための術だけではなく、精神も鍛える武術。同会では、礼儀、思いやり、行動力などを身に付けることを目的の一つとし、活動している。



写真左から、全国に挑む藤田琉那さん、小松有里さん、前田桃花さん、圓井空志君

少林寺拳法福島鮫川道院拳友会

県大会を制し 4人の拳士が全国へ挑む

県総合体育大会少林寺拳法大会は６月28日、須賀川アリーナで行われ、少林寺拳法福島鮫川拳友会の圓井空志君（鮫川中３年）と前田桃花さん（同３年）の組が中学生男子の部で、小松有里さん（同２年）と藤田琉那さん（同２年）が中学生女子の部で見事優勝を勝ち取りました。また、藤田大成君（同２年）と圓井経佑君（同２年）を加えた６人で挑んだ団体戦においても中学生団体の部で優勝に輝きました。この結果、圓井・前田組と小松・藤田組は、11月14日、15日に京都府で行われる全国大会出場を決めました。

今大会が初めて組んだという圓井・前田組は、圓井君はつきが、前田さんは蹴りが得意で、お互いの欠点を補い合っています。女子でありながら男子の部に出場した前田さんは「女子で通用するのか不安でした。優勝できると思っていなかったのでおどろきました」とはにかみます。また、小松・藤田組は「緊張しましたが、練習通りできました」と振り返ります。指導を行う小松照義会長は「みんな集中して練習以上の演技を披露してくれた。本番に強い子どもたちだ」と笑顔を見せます。

２組とも全国大会出場は初めての経験です。前田さんは「予選突破を目標に、自分ができる最高の演技をしたいです」。圓井君は「今までお世話になった人たちに感謝して、１つでも上位にいきたいです」と気合十分です。また、小松さんは「全国大会はレベルが違うので、少しでも通用するようにうまくなりたいです」と練習に励みます。藤田さんは「本番ではあせらず、集中力をきらさないように演技したいです」と表情を引き締めました。

全国という大舞台で、堂々とした演技を披露してくれることでしょう。

ぼく・わたしの夢

〈第6回〉

鮫川小6年生



鈴木功冴君

動物図鑑を作る人や昆虫博士に

将来は、動物に関係する仕事をやりたいです。図鑑を作る人、昆虫を研究する博士、獣医や動物園の飼育員などです。幼稚園のころから、特に昆虫が好きで、触ったり、図鑑を読んだりしています。

ディズニーランドで働きたい



関根　幹さん

ディズニーランドのキャストになりたいです。親を待っている子どもに人形を使って優しく接しているキャストを見て、その人を目標にしています。今はキャストになるために英語の勉強を特に頑張っています。



武藤圭汰君

みんなから頼られる警察官に

将来の夢は、警察官です。人を助ける仕事がしたいからです。9月、鬼怒川の堤防が決壊したとき、困った人を助けている人たちがかっこよかったです。みんなから頼られる警察官になりたいです。

何でも直せる自動車整備士に



鈴木智大君

自動車整備士になることが夢です。お父さんは車関係の仕事をしています。何でも直すことができるので、すごいと思います。僕もお父さんみたいに何でも直せる整備士になりたいです。

教育長コラム

「おかめ」とは、お多福のことで醜い女性をあざけった言葉のようですが、私は学生のころから実母と重ね合わせ、「おかめ」に愛着をもっています。

・愛情溢れる細いまなざし
・よく聞こうとする大きな耳
・口数が少ない小さな唇
・天狗にならない低い鼻
・我が子を包もうとする広い顔

よく考えると、子どもに対する母親のあるべき姿かもしれないと思うようになったのです。

幼子が遊ぶ広場で、青葉の茂った木陰で憩う親子を観察することができました。おぼつかない足取りで2、3歩離れては、母親を見て安心する幼子。そのたびに、母親は温かいまなざしと励ましの言葉をかけていました。

鮫川村のすべての幼子がこうした励ましと信頼の絆づくりの過程を経て成長してほしいと願っています。子育てには心が必要なのです。

奥貫　洋

学校だより

（133）

鮫川小学校編

秋のさめっ子大活躍！
東白川郡陸上競技大会

「東白川郡陸上競技大会」は10月6日、白河陸上競技場で行われ、6年生が素晴らしい活躍をしました。合計10種目で入賞しました。



結果は次の通りです。（敬称略）▼4×100mリレー（女子）2位（男子）5位▼100m走（男子）1位・鈴木智大（女子）3位・関根幹▼80mハードル（男子）6位・前田一成▼800m走（女子）1位・蛭田樹璃▼走り高跳び（男子）2位・藤田拓朗（女子）6位・霜田侑奈▼ソフトボール投げ（男子）4位・小林蓮（女子）6位・藤田侑伽

4・5年生が宿泊学習

9月24日・25日の2日間、国立那須甲子青少年自然の家で、4・5年生が宿泊学習を行いました。1日目の「沢歩きハイキング」では、子どもたちは足を水につけて大はしゃぎしました。夜は「キャンドルファイヤー」で、友だちとの絆を深めました。2日目は、「那須甲子チャレンジランキング」に挑戦。また、バイキング形式の食事を食べたり、交流したりして、思い出をたくさんつくりました。

修学旅行・見学学習

10月9日、6年生が修学旅行、1～5年生が見学学習を行いました。見学学習では、1・2年生は福島空港、3年生はライフポートわしお結城店と南湖公園、4年生は郡山市ふれあい科学館と大安場史跡公園、5年生はアクアマリンふくしまと日産自動車いわき工場に行きました。



6年生の修学旅行では、飯盛山を見学した後、班ごとに会津若松市内をフィールドワークしました。天候にも恵まれ、各学年は楽しく充実した活動を行うことができました。

（文・写真／鮫川小学校）

都市にはない子どもたちの成長の場、それを見守る地域の人たちがいる

山々が色づき、鮫川村は美しい季節になりました。10月は稲刈りや秋祭りなどがあり村内はにぎやかでしたが、皆さんはどう過ごしましたか？

普段の活動は手まめ館にいたり、似顔絵を描いたり、小学校で読み聞かせをしたりと、スポーツとは無縁でした。しかし、10月は東京農大生と一緒に稲刈りをしたり、赤坂西野区にある熊野神社の奉納相撲に参加したりと、体を動かす機会が多かったように思います。学生の皆さんと一緒に活動していると、私も学生に戻ったような気分になりました。

初挑戦となった相撲。運動が苦手なので少し心配しましたが、負けず嫌いな性格もあり、何とか試合になりました。いざ取組をしてみると、農作業とは違う筋肉を使うので、稲刈りをした直後の取組は大変でした。しかし、テレビでしか見たことがなかったので、とても新鮮でした。

また、ちびっ子相撲では、勝って喜ぶ子、自信をつけてたくましくなった子、悔し泣きをする子など、それぞれのドラマがありました。

鮫川村は少子高齢化で悩まされている部分はありますが、都市部にはない子どもたちの成長の場があり、それを見守る地域の人たちがいるので、とてもうらやましいです。鮫川村の環境が子どもを育てることを間近で感じることができました。

私も子どもたちに負けないぐらい元気に活動できるように頑張ります。そのために、きちんと健康的な日々を過ごします！





上_公民館事業「竹細工講座」に参加し、竹かごを作りました／下_奉納相撲で5人抜きを達成し、賞品をもらいました



まわしを付けての取組。地域の人たちの温かい声援を受けながら、頑張りました

facebook 「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」「いいね！」お願いします。

秋の実りに感謝
鮫川小5年生が稲刈り体験



収穫を喜ぶ児童たち

毎年、鮫川小５年生が１年間通して米作りを体験しています。稲刈りは10月13日に行われ、高野博光さん＝発地岡＝の指導で行われました。児童たちは、実りを確かめるようにかまで稲を刈り、はせ掛けをしました。今後、収穫祭を行い、自分たちが育てた米を味わう予定です。

里山の収穫を体験
田んぼのオーナー稲刈り体験ツアー

「田んぼのオーナー稲刈り体験ツアー」は10月17日、18日の２日間、渡瀬地区を中心に行われました。ツアーには、首都圏在住のオーナー約20人が参加。渡瀬ライフサポートメンバーの指導で、鎌を使った刈取りからはせ掛けまでを行い、昔ながらの収穫を体験しました。



丁寧に刈取りをするオーナー

地元食材を生かした給食
全国学校給食甲子園でブロック代表に



ブロック代表に選ばれた献立

「第10回全国学校給食甲子園」で、村学校給食センターが北海道・東北ブロック代表４校に選ばれました。応募した献立は、つくねに凍みもちを埋め込んだ「凍みもっちつくね」、「達者の豆腐と野菜のサラダ」、「さめがわカボチャのみそ汁」など、「鮫川らしさ」を全面に打ち出した内容です。

強豪福島市に惜敗
第２回市町村対抗県ソフトボール大会

「第２回市町村対抗県ソフトボール大会」に出場した鮫川村チームは10月17日、相馬光陽ソフトボール場（相馬市）で行われ、１回戦で福島市と対戦しました。３回までに15点を奪われ、粘り強いプレーを見せましたが、及ばず惜しくも初戦敗退となりました。



粘り強いプレーを見せた選手たち

村政TOPICS

訓練の成果を披露した消防団秋季検閲

村消防団の秋季検閲は９月27日、村青少年広場で行われました。

検閲に先立ち、赤坂東野字広畑地内十字路から村青少年広場まで行進し、火災予防を呼びかけました。

検閲には団員225人が参加。無火災祈願の黙とうのあと、統監の大樂村長

子どもたちの作品集「こころのうた」が完成

村青少年健全育成推進協議会は、「第20回少年主張大会」「第19回こども俳句・短歌・詩のコンクール」「第８回家族への短い手紙」の作品をまとめた「こころのうた」を作成しました。公共施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。



作成された「こころのうた」

大自然の中で食欲の秋を満喫
第28回高原の鮫川うまいもの祭り

「第28回高原の鮫川うまいもの祭り」は10月18日、鹿角平観光牧場で開かれ、村内外からの多くの参加者でにぎわいました。

爽やかな秋晴れの下、焼き肉をメーンに、特産品などの出店が並び、鮫川村の「うまいもの」をアピール。特設ステージでは、鮫川中1年生による太鼓演奏を皮切りに、いわき市公認ご当地アイドル「アイくるガールズ」のステージ、フリースタイルモトクロス（ＦＭＸ）のデモンストレーション、塙工業高校和太鼓部による演奏など、多彩な催しが繰り広げられ、会場を盛り上げました。





上_家族や友人と焼き肉を楽しんだ参加者／左_アクロバットな技で観客を魅了したフリースタイルモトクロス

元気いっぱい駆け回る
こどもセンター親子運動会



一緒にゴールする親子

さめがわこどもセンターの親子運動会は9月26日、村農業者トレーニングセンターで行われました。玉入れやカラーリレーなどのおなじみの種目のほか、クラスごとに工夫を凝らした親子競技などが繰り広げられ、子どもたちは大きな声援を受けながら元気いっぱい駆け回りました。

鎮守の森に歓声響く
赤坂西野区ふるさと相撲大会

「赤坂西野区ふるさと相撲大会」は10月4日、名下地内の熊野神社境内で行われました。大会には地元青年会や東京農大生が参加し、迫力ある取組を繰り広げました。また、地元小学生によるちびっ子相撲も行われ、会場に大きな歓声が響きました。



力強い取組を披露した力士

村政TOPICS

東京都北区で村の魅力をアピール



農産物などを購入する消費者

「ふるさと北区区民まつり」は10月3日、4日の2日間、東京都北区の飛鳥山公園で開かれました。

村ふるさと振興協議会が参加。村内産の農産物や加工品などを販売し、鮫川村の魅力や食の安心安全を都市住民にアピールしました。



大隊訓練を行う団員たち

が訓示を述べました。続いて、通常点検や大隊・中隊訓練などが次々と繰り広げられ、団員は機敏な動作で訓練に臨んでいました。

村民【随想】リレー ── 208

湯座りつ子さん

子どもと共に。



YUZA RITSUKO

ゆざ・りつこ●1978年９月生まれ。特別養護老人ホーム「寿恵園」（棚倉町）に勤務。趣味はバレーボール。日々、笑顔を心掛けている。赤坂中野字取上、37歳。

私は、ここ自然豊かな鮫川村で生まれ育ち、村内に嫁ぎました。四季を感じ、さまざまな風景を見ながら子育てができる環境がここにはあります。

中学生の娘2人と小学生の息子がおり、子ども中心の生活を送っていますが、たくさんの楽しみがあります。いつも笑いをくれてみんなを楽しませてくれる元気いっぱいな息子。娘たちの試合の応援に行くことも楽しみです。一緒に泣いたり、笑ったり、喜び合ったり。そして、娘たちの頑張っている姿を見ることは私自身の励みになります。また、ママさんバレーボールも楽しみの一つです。体を動かし、時には仲間とお酒を飲み、そんな時間が大好きです。

私は、現在、特別養護老人ホームに勤めています。家族が協力してくれるからこそ働けるのだとても感謝しています。仕事では、たくさんの出会いもあり、別れもありますが、人の役に立つことが感じられます。それがこの仕事を続ける支えにつながっているのだと思っています。

出会えた人たちに感謝し、向上心を忘れず、子どもと共に成長していきたいです。 ■

次号は、鈴木千穂さん（赤坂中野字道少田）にバトンタッチ！

俳句

当番や美術団体早しぐれ　中井　恒峯
コンバイン刈れば明日は玄米に　北條素人坂
反安保ねがう秋夜は豪雨降る　松本　精一
夕焼けに浮いて浅間の煙立つ　前田　縫子
道ばたに栗ころころと里の朝　鈴木　米子
鶏頭燃ゆいぐられた魂の叫び　齋須　信子
菓子を持ち月見どろぼうはしゃぎ行く　山本　恵子
ケンポウ虫サブトレン虫ヘノコ虫　土　竜庵
過疎村の谷を埋める竹似草　山本五十鈴

短歌

バレー部の名アタッカーの友は逝くいつも話題の中学時代　鈴木イミ子
娘に送る壺の一つの桜色　かくも咲けよと願いを込めて　佐藤　春枝
今日は夏至　散歩楽しむ園児らの園舎につくまで寄るな黒雲　矢吹　定子
壊れたる雪掻板も直しつつ　早くも冬の準備す夫　須藤　幸子
何事のありしか友の賀状来ず一月半ばの風の冷たさ　水野　珠子
倍ほどの体動かし働きしわが若き日に今ある健康　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 43

待っている人がいることが原動力に



富田げんき支援隊

松本哲明会長／７人

２００９年、県の補助を受けて始まった「水源の里　富田地区地域再生事業」。この中で、高齢者が安心して楽しく生活できる地域づくりを目的に、「富田げんき支援隊」が発足しました。12年以降は、県の補助金に頼らず、富田区の支援と会費で継続しています。

月１回、身近な話題などを掲載した「元気だより」を作成し、高齢者世帯を訪問しています。春には、花苗も配布しています。元気だよりを保存している高齢者がいるなど、訪問を心待ちにしている人は多いといいます。それが活動の原動力になっています。

「一声かけるだけでもいい」と、地域で高齢者を見守る重要性を訴えます。

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

一〇三歳になってわかったこと 人生は一人でも面白い

篠田桃紅著、幻冬舎



100歳を超えたから見える世界がある。生きている限り人生は未完成。今も第一線で活躍している美術家・篠田桃紅が、時に優しく、時に厳しく、人生の生き方や楽しみ方を伝授する。

いとま申して

北村薫著、文藝春秋



父がのこした日記につづられていたのは、旧制中学に学び、読書と映画を愛し、創作と登校に夢を追う父と友人たちの姿だった。そして、彼らが夢を託した雑誌「童話」には、金子みすゞや淀川長治と並んで父の名が記されていた―大正末から昭和初めの主人公の青春を描く。

第３土曜日は 家族一緒に読書の日

野菜達何も言わない物なれど色に見せ来る手入れの程は　溝井　清乃

今日も又畑に来れば野菜らの迎えて光るみどりの色に　坂本　伊紀

自分では植えられないと思いども種を買え来て苗作りする　本郷　千代

国という重みをよそに一党の利益に走る野党の理論　一　平　子

ゆらゆらと昇る香華に面影を偲ぶ彼岸の墓参り　石井　幸子

山並みに紅葉ちらほら見え初めて里は黄金の波に揺れいる　須藤シツエ

念じつつ見渡す稲田は豊作と穂波は揺れて私は安堵す　前田喜三子

秋風に吹かれて歩む森の道孫への土産にドングリ拾う　関根ヨネ子

雨だれの滴のあまた南天にしばし宿りて消えゆくばかり　藤田千代子

一日の畑仕事の帰り道空は茜に我が身を染める　関根ハナヨ

朝夕の冷たさ感じるジョギングもわが身の為と一巡りする　板橋　源良

夫植えし金木犀は咲き盛り香りと共に夫の顕ち来る　関根キヌ子

安保法数は力の民主主義民意の声はかすんで遠くに　矢吹　一二

秋祭り地相撲奉納子等交え区民集えて神社賑わう　北條　平



富士山と桜を描いた布絵。約１年かけて完成させたお気に入りの作品

あなたの光る技
キラり
Vol.40



布絵
蛭田久美子さん
ひるた・くみこ／渡瀬字福原／61歳

布の切れ端が作品に生まれ変わる 無心になれる貴重な時間に

思い描いたものが形になるのがうれしいと話す久美子さん。指で貼ることでやわらかさが出るといいます

細かく刻んだ布をのり付けして描く布絵。遠目には油絵のように見えますが、布を重ねることで生まれる立体感が特徴です。５年前、友人に誘われて行った料理店で、布絵と出会いました。以来、月に1回、須賀川市で習っています。

布を刻んで貼るといっても、描く物によって刻み方や貼り方は異なります。また、刻むのも全て手作業。久美子さんにとっては、忙しさの中で無心になれる貴重な時間だといいます。

絵具のように色を混ぜることはできないため、何十種類もの色合いが異なる布を使って光や影などを表現します。「布で表現するのは大変。私の作品はまだぎこちなくて、自然な柔らかさを表現するのが今後の課題です。いろいろな技法を自分のものにしていきたいです」と意欲的です。

材料となる布は、ほとんどが古い布団カバーや衣類などで、小さな切れ端も大切に保管しています。「切れ端が作品に生まれ変わります。布絵を通して、捨てる物でもアイデア次第で、生かすことができることを学びました。無駄な物はありません」と目を輝かせます。

若者の広場　No.131

Young Plaza

宗田直也さん

もっと活気がある鮫川村に



そうた・なおや
1994年8月31日生まれ　21歳
O型　おとめ座
趣味は野球
赤坂中野字宿ノ入

★今、夢中になっていることは？

仕事終わりに地元の同級生とランニングをしています。クラブチームに所属して野球をやっているので、体力づくりが目的です。

★これからチャレンジしてみたいことは？

全国大会出場を目指して野球を頑張っています。ポジションはピッチャーです。周りが見えなくなりがちなところを直したいです。

★鮫川村に住んでいて感じることや好きなところは？

自然が豊かで、星がきれいだと思います。星空を見せたくて、高校時代の友だちや職場の人たちを呼んでキャンプをしたりしました。みんな感動していました。

★鮫川村に要望などはありますか？

集団登校や外で遊んでいる子どもを見かけることが減りました。私が子どものころは、山の中に秘密基地を作ったり、冬はかまくらを作ったりして遊んでいました。人口が減っていることと時代が変わったのかなと少しさみしいです。もっと活気がある鮫川村になってほしいです。

■

12月は、前田なつきさん（赤坂東野字前田在住）の予定です。

今月の一品

さめがわレシピ



ご飯と卵のかんたんピザ

19年度アイディア料理コンテスト最優秀賞作品

■材料（4人分）

タマネギ…中1/2個　ピーマン…1個　サラミ…5g
トマト…1/4個　ご飯…150g　卵…4個
ミートソース…大さじ2　とろけるチーズ…30g
塩・こしょう・しょうゆ…少々

■作り方

❶タマネギは粗みじん、ピーマンはトッピング用に10切れくらい切り、残りは粗みじんに切る。サラミ、トマトは好みの大きさに切る。
❷フライパンでタマネギをから煎りし、次にピーマン、ご飯、塩、こしょう、しょうゆを入れてから煎りする。
❸溶き卵に塩、こしょうを少々入れる。
❹フライパンに油をひき、❸を半分入れてふたをして中火で約10秒焼く。❷を手早くのせ、残りの❸をかけてふたをして中火で焼く。
❺焦げ目がついたら返し、弱火にしてミートソースを塗り、トマト、サラミ、ピーマン、とろけるチーズをのせてふたをして焼く。



岡崎かつ子さん（64）赤坂中野字真坂

紹介者から一言

ご飯がないときは卵だけでも作ることができます。また、トッピングの具材は好みでアレンジすることもできます。簡単にできるので、ぜひ作ってみてください。

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

県民手帳・県勢要覧を販売しています

県統計協会発行の「２０１６福島県民手帳」「福島県勢要覧」を販売しています。購入する場合は、代金を持参の上、役場企画調整課または住民福祉課窓口でお求めください。

２０１６福島県民手帳▼価格…５００円（税込み）▼内容…月間ダイアリー、週間ダイアリー、統計データ（全国から見た福島県、県内市町村勢一覧など）、日常生活に役立つ便覧（災害発生時の連絡先、年齢早見表など）▼付録…主要交通路線と観光マップ

福島県勢要覧（Ｂ６判）▼価格…１５００円（税込み）▼内容…県勢全般がわかる総合統計書。県および県内市町村の最新統計資料（自然、人口、産業、所得・物価・地価、復興のあゆみなど）。

問 村企画調整課企画振興係☎㊾３１１５

秋季全国火災予防運動

「無防備な　心に火災がかくれんぼ」をスローガンに11月９日から15日までの７日間、「秋季全国火災予防運動」が行われます。火災の未然防止に心がけましょう。

また、住宅用火災警報器は全ての住宅に設置が義務付けられています。まだ設置していない場合は、早めに設置しましょう。

問 棚倉消防署鮫川分署☎㊾２１１９

女性の人権ホットライン強化週間

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、夫・パートナーからの暴力やストーカーなど、女性をめぐるさまざまな人権問題解決を強化するため、電話相談を行います。

期間　11月16日㊊～22日㊋
時間　８時30分～19時※11月21日、22日は10時から17時まで
電話番号　全国共通ナビダイヤル☎０５７０－０７０－８１０

問 福島地方法務局人権擁護課☎０２４－５３４－１９９４

年末調整説明会

日時　11月16日㊊13時30分～15時30分
場所　棚倉町立図書館
対象者　東白川郡内の源泉所得税徴収義務者

問 白河税務署法人課税部門☎０２４８㉒７１１１

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。
11月の担当は――

鮫川小学校保健委員会
鈴木功冴君（左から）
高野敦輝君
鈴木修希君
藤元優雅君
舟木崇太君



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247−49−3111
FAX 0247−49−2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
固定資産税（第４期）
国民健康保険税（第６期）
介護保険料（第６期）
後期高齢者医療保険料(第4期)
※納期限：11月30日(月)

information

二級河川鮫川水系河川整備計画（原案）の閲覧

二級河川鮫川で今後30年間に行う河川整備に関する計画を策定するため、原案の閲覧を行います。

閲覧期間　11月16日㈪～12月4日㈮9時～17時（土日祝日を除く）

閲覧場所　①県南建設事務所河川砂防課②役場地域整備課

意見書の提出先　県いわき建設事務所河川砂防課（〒970-8026いわき市平字梅本15番地）

問県いわき建設事務所河川砂防課☎0246㉔6127

保健・福祉

難病の人へ向けた医療費助成制度

指定難病患者で、症状が一定程度以上または高額な医療費を支払っている場合は、医療費助成制度が利用できるようになります。

概要　▼指定難病の医療費の自己負担割合が2割に引き下げられます。1割負担の人は変わりません。▼外来・入院の区別なく、世帯の所得に応じた医療費の自己負担上限額（月額）が設定されます。

認定基準　指定難病にかかっていて、次のいずれかを満たしている場合、受給者証を交付します。▼①症状が一定程度以上※基準がありますので、主治医によく確認してください。②申請した月から12ヵ月前までの期間に指定難病に係る医療費総額が月額33330円を超える月が3回以上ある（軽症高額該当者）

申請手続き　県南保健福祉事務所に申請してください。申請に必要な書類などは、各保健福祉事務所または県健康増進課ホームページ（http://www.pref.fukushima.jp/）で確認してください。

問県健康増進課☎024-521-7640

うつ病家族教室

県南保健福祉事務所は、うつ病の人を持つ家族を対象に、うつ病の知識やうつ病の人との接し方などを学ぶとともに、日ごろの悩みや思いを家族同士で話し合う場を開きます。

日時　①11月13日㈮②11月26日㈭③12月9日㈬／いずれも13時30分～16時

場所　県南保健福祉事務所（白河市）

内容　①うつ病の基礎知識②うつ病の人への対応③うつ病の人と生活するために必要なこと　※いずれの回も家族交流会を行います。

対象　うつ病の人を持つ家族（①のみ一般公開）

申し込み　県南保健福祉事務所に電話で申し込んでください。

問県南保健福祉事務所障がい者支援チーム☎0248㉒5649

むし歯のない子

9月4日実施の3歳児健診

9月4日に村保健センターで行った3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児3人中2人でした。（①保護者②むし歯にならないために頑張ったことなど）



鈴木颯太（そうた）君　西山字水口

①父・博勝　母・美里
②嫌がらず歯みがきをするように、家族で一緒に歯みがきをすることを習慣づけています。必ず仕上げみがきをしています。



荒井美桜（みお）ちゃん　赤坂西野字本坂

①父・祥太　母・いづみ
②泣いちゃうときもあったけど、毎日歯みがきを頑張りました。

「出逢い＆ふれあいの会」参加者

日時　12月6日㊐13時～17時

場所　グランディ那須白河ゴルフクラブ（西郷村）

参加料　男性5,000円／女性3,000円

年齢　20歳から45歳までの独身者　※居住地は、男性は県南9市町村、女性は問いません。

申し込み　11月25日㈬までに電話またはインターネットで申し込んでください。

申し込み先　▶電話…村農業委員会（平日の8時から17時15分まで）▶インターネット…ふくしまFM（http:www.fmf.co.jp）

問村農業委員会☎㊾3197



November
11

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
3 文化の日 ㊡金澤医院（矢祭町） ☎46-2312 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●第 20 回村少年主張大会・第 14 回音楽発表会…9:00 ～［公］	**4** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日	**5** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面） ●やまゆり保育室［こ］ ●子宮頸がん・骨粗鬆症検診	**6** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**7** ●村民の店「すまいる」感謝祭
10 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**11** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●やまゆり乳児室［こ］ ●３歳児健診… 13:00 ～［保］	**12** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●わくわく図書館ひろば…16:00 ～［図］	**13** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**14**
17 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**18** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●おはなしの森… 16:00 ～［図］	**19** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面）	**20** ●心配ごと相談… 13:00 ～ 15:00[公] ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**21** ●鮫川の郷土料理を楽しむ会…正午～［公］
24 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面）	**25** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●１歳６ヵ月児健診… 13:00 ～［保］ ●村文化祭作品展示 ［公］12 月 1 日まで	**26** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面）	**27** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00[保]	**28**
12/1 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面）	**2** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日	**3** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面）	**4**	**5** ●こどもセンターお遊戯会［こ］
8 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**9** ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●やまゆり乳児室［こ］ ●やまゆり保育室［こ］	**10** ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●わくわく図書館ひろば…16:00 ～［図］	**11** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**12**

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

9月届け出分・敬称略



関根　凛花・女
平27.8.27生
住所…赤柴
保護者…佑一・恵美

おくやみ

9月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
大平	関根　孝夫	9. 8	67歳
下	菊地　四郎	9.12	92歳
反田	国島ハルイ	9.21	85歳
彦次郎	青戸キヨイ	9.28	83歳

人の動き

10/1現在・（　）は前月比

人口	**3,782**人	（－13）
男	**1,904**人	（－ 7）
女	**1,878**人	（－ 6）
世帯	**1,156**戸	（－ 1）

寄付寄贈

9月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…関根善弘（大平）　菊地常夫（下）　国島賢一（反田）　青戸義之（彦次郎）　ふれあい歌謡教室（会主増谷猛・荻ノ沢）

■**ひだまり荘へ[紙おむつ]**…佐藤文夫（火打石）

■**ひだまり荘へ[福祉車両]**…ジャパンゴルフツアー選手権

■**自然環境の維持、保全および整備に関する事業などのために[金員]**…根本冨士男（東京都）

■**村長が必要と認める事業のために[金員]**…菊地靖夫（郡山市）

※お誕生、おくやみ、寄付・寄贈欄への掲載を希望しない人は、届け出の際に申し出てください。

暮らしのカレンダー

日	月
11/1 ㊡ふじた循環器科内科クリニック（棚倉町）☎33-2013 第1日曜日は環境美化の日	**2** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村県民税などの納期限
8 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 ●秋季火災防御訓練…6:30～／官沢 ●「手まめ館」10周年感謝祭（3㌻参照） ●親子読書教室…10:00～[図]	**9** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
15 ㊡東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 ●福島県議会議員一般選挙投票日 ●第27回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	**16** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]
22 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424	**23** 勤労感謝の日 ㊡深谷クリニック（棚倉町）☎33-3223 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●ふる里文化芸能クラブ発表会…9:00～[公]
29 ㊡車田病院（塙町）☎43-1019 ●第1回鮫川村舘山周回駅伝競走大会	**30** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●固定資産税などの納期限
6 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 第1日曜日は環境美化の日	**7** ●図書館休館日 ●トレセン休館日

広報 さめがわ
Public Relations SAMEGAWA
11 November 2015

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_18

生田目定之助さん フクミさん

富田字中沢／1965（昭和40）年４月結婚

養豚を中心に、コンニャク芋、原木シイタケ、水稲など、多角的農業経営を行ってきた生田目さん夫妻。しかし、フクミさんは大の農業嫌いだったといいます。「実家では絶対に農作業を手伝いませんでした。まさか農家に嫁ぐなんて思いませんでした」と、２人は顔を見合わせて笑います。

農業と並行して、30年間、親の看病をしました。入退院を繰り返し、その度にフクミさんは子どもを背負って病院に通いました。看病が終わったとき、お子さんが北海道旅行をプレゼントしました。「子どもたちが親孝行してくれているのがうれしい。苦労した分、今は幸せ」と目を潤ませます。

こちら村長室

▼食べ物にはそれぞれ旬があります。自然の中で野菜や果物が採れたり、魚がたくさん捕れたりする季節で、その旬の時期に食べるのが一番おいしく、栄養たっぷりです。▼秋の旬の食材と言えば、日本人が一番多く食べるお米、新米でしょう。「食欲の秋」「実りの秋」という言葉は、まさにお米のためにあるようなものです。やはり新米の色や艶は、古いお米とは大違い。毎日食べているものなので味の違いに気付きやすいのではないでしょうか。新米はいつもより少し水の量を減らして炊くのがおすすめです。▼農薬や化学肥料に頼らず、有機の里づくりの中で生産された優しさいっぱい、安心いっぱいの新米には特別な香りがあります。農産物加工・直売所「手・まめ・館」では、自慢の有機米が皆さんの来店を待っています。▼米の１人当たりの年間消費量は、農林水産省調べでピーク時の１２０キログラムから半減し、57キログラム。品質で勝負する時代です。生産者の皆さんの研究と努力に期待し、消費者の皆さんで応援しましょう。

大樂勝弘

平成27年11月１日発行（毎月１日発行）
第739号（昭和27年９月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５